

「第9回神流マウンテンラン&ウォーク」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター 前橋水源林整備事務所

前橋水源林整備事務所（群馬県前橋市）は、平成29年11月12日（日）に、当事務所が整備する水源林造成事業地に隣接する林道を、コースの一部として使用する、「第9回^{かな}神流マウンテンラン&ウォーク（主催：群馬県神流町）」に、今年も参加しました。

選手のコース誘導やエイド・ステーションでの救護、食料や飲み物の提供を地域の皆様と共同で参加する一方、コースの沿線に「山火事注意」の横断幕や森林整備センターののぼりを設置し、注意喚起に併せ、PR活動も行いました。

舗装されていない自然の道を走るトレイルランニング（トレラン）は、今や各地で開催されています。その中でも「日本一温かい大会」を掲げる「神流マウンテンラン&ウォーク」は神流町という、人口2,000人足らず、高齢者比率55%を超える、過疎化の進む小さな町で行われています。前日は選手を対象にした鍾乳洞探検や豆腐づくりなどの山村体験、夜は学校の体育館で町民の皆様によるおもてなしのウェルカムパーティー、そして町内での民泊。大会当日のエイド・ステーションに用意している食料も、皆様の手作りの漬け物やおやき等々。多くの方がこの大会に携わる、素朴ながらも心のこもったおもてなしで人気を博しています。

当日は冷たい空^{から}の吹く晴天の中、約670人が50km、40km、27kmの3つのコースに参加しました。凍えた体で走ってくる選手に応援の声を掛けると「寒い中、ありがとう。」とこちらが励まされて元気をいただきました。

前橋水源林整備事務所は、今後もこのようなイベントに積極的に参加し、地域の皆様との交流を深めながら、啓発活動や水源林造成事業のPRに努めていきたいと考えています。



コース誘導の様子
(森林整備センターの旗を立てさせていただきました)



山火事注意の横断幕



エイド・ステーションの様子